

令和2年度いわき市病院事業会計決算の概要

- 1 当センターは、28の診療科を有し、病床数700床により、福島県浜通り地方の高度急性期医療を担う中核病院として地域住民の健康保持に必要な医療を提供しているところであります。
- 2 年間総延患者数は、入院が160,248人、外来が213,151人であり、前年度と比較し、入院は25,979人の減少、外来は25,878人の減少となりました。入院は、主に消化器内科、外科の患者が減少し、外来は、主に整形外科、小児内科の患者が減少しました。
- 3 収益的収支は、収入が前年度に比べ8.2%増の247億9,232万1,291円、支出が前年度に比べ0.9%減の236億6,832万8,345円となり、11億2,399万2,946円の当年度純利益を計上することとなりました。
 - (1) 主な収益的収入としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染症患者の受入れ病床の確保や国の方針に基づく手術の延期等により、患者数が減少したこと等から、医業収益が前年度に比べ7.7%減の172億8,537万3,148円となりました。なお、患者一人一日当たりの収入は、入院が80,664円、外来が18,040円であり、前年度と比較し、入院は4,958円の増加、外来は1,144円の増加となりました。一方、医業外収益は、病床確保料等の財政支援制度を積極的に活用したこと等により、前年度に比べ73.0%増の69億7,688万8,079円となりました。
 - (2) 主な収益的支出としては、患者数の減少に伴う薬品費や診療材料費の減に加え、旧病院建物等の除却や解体工事の進捗に伴う減価償却費や資産減耗費の減などにより、医業費用が前年度に比べ2.4%減の222億4,702万3,106円となりました。
- 4 資本的収支は、新病院建設事業に係る収入、支出が減少した一方、企業債償還金が増加したことにより、収入が前年度と比べ0.1%減の33億9,288万5,024円、支出が前年度と比べ9.8%増の45億1,287万5,633円となりました。
 - (1) 主な建設改良工事としては、新病院事業について、駐車場の造成工事及び院内保育所の建設工事を実施しました。
 - (2) 医療器械としては、医療業務の向上を図るため、病棟ベッドや整形外科手術用内視鏡増設整備セット、被ばく量管理システムなど124品目を6億786万2,090円で購入しました。
- 5 今後も、新型コロナウイルス感染症が拡大や収束を繰り返すと予測される中、当センターは、その状況を見極めながら、引き続き、機動的な医療提供体制を構築し、感染症への対応と救急医療や周産期医療といった通常医療との両立を図るとともに、新たな市病院事業中期経営計画に定める経営改善に向けた取組を着実に実施し、健全経営の推進に努めて参ります。